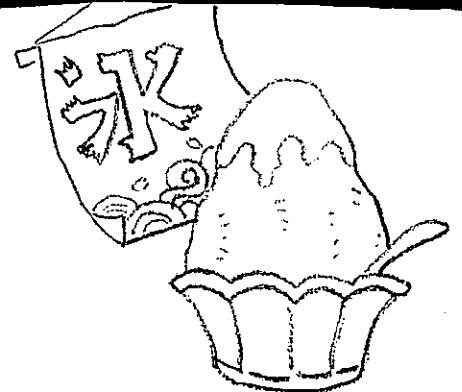


ほほえみ

第 262号
令和2年
8.1 発行

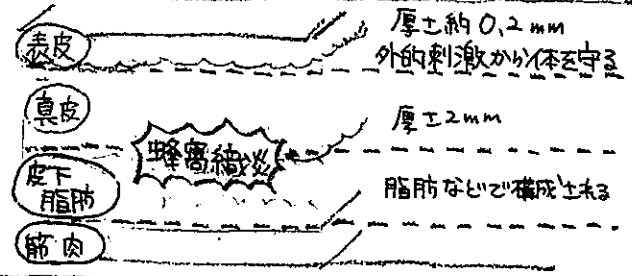


今回は"蜂窩織炎"についてです。
ぜひ、ご覧下さい。



蜂窩織炎とは...

皮膚とその下にある皮下脂肪にかけて細菌が入り込む皮膚の感染症です。
蜂巣炎とも呼ばれます。



1. 原因

ひかき傷や小さな刺し傷、やけど、水虫などの感染症、その他皮膚の病気が原因で皮膚が弱っている時に、そこから細菌が侵入することがあります。
また、傷がない皮膚にも起こる場合があります。

2. 症状

皮膚が赤く腫れて、熱感を感じます。
患部を触ると痛みを感じる場合があります。
症状がひどくなると発熱や倦怠感など
全身症状が出る人もいます。



3. 診断

医師による問診や既往歴、感染した場所の視診により、診断をおこないます。
採血で炎症を示す数値が上がっていないか調べたり、膿を採取して細菌の種類を調べる場合もあります。

4. 治療

症状が軽い場合は抗生物質の飲み薬や
外来での点滴治療が可能です。
しかし、症状が広がるスピードが早い場合や
発熱がある場合、元々持っている持病の影響
で症状が重病になる可能性がある場合など
は入院し、点滴治療が必要なこともあります。

5. 予防

細菌に感染しない環境づくりが大切です。
皮膚バリア機能を保つためにもプロローブ
水虫など皮膚の病気があれば、医療機関を受
診し、治療をすることが予防につながります。
また、皮膚に付着した細菌を落とすために
外出から帰った時には、手洗いを徹底し、
皮膚を清潔に保つ事も有効です。

